

福祉・介護に関する 意識調査結果とイメージの変化

2018年9月6日
株式会社リクルートキャリア
HELPMAN JAPANグループ

リクルートキャリア「HELPMAN JAPAN」プロジェクト

福祉の仕事に関する情報発信と採用・定着・戦力化を通じて、
業界サポートを実現するプロジェクトです。



リクルートキャリア「HELPMAN JAPAN」プロジェクト

ブランディング

メディアサイト



漫画「ヘルプマン！」とのタイアップ



冊子の刊行



採用支援

採用支援ノウハウセミナー



採用コンサルティング



市場調査



介護福祉士資格取得支援



定着支援ノウハウセミナー



定着支援

階層別介護職員向け研修

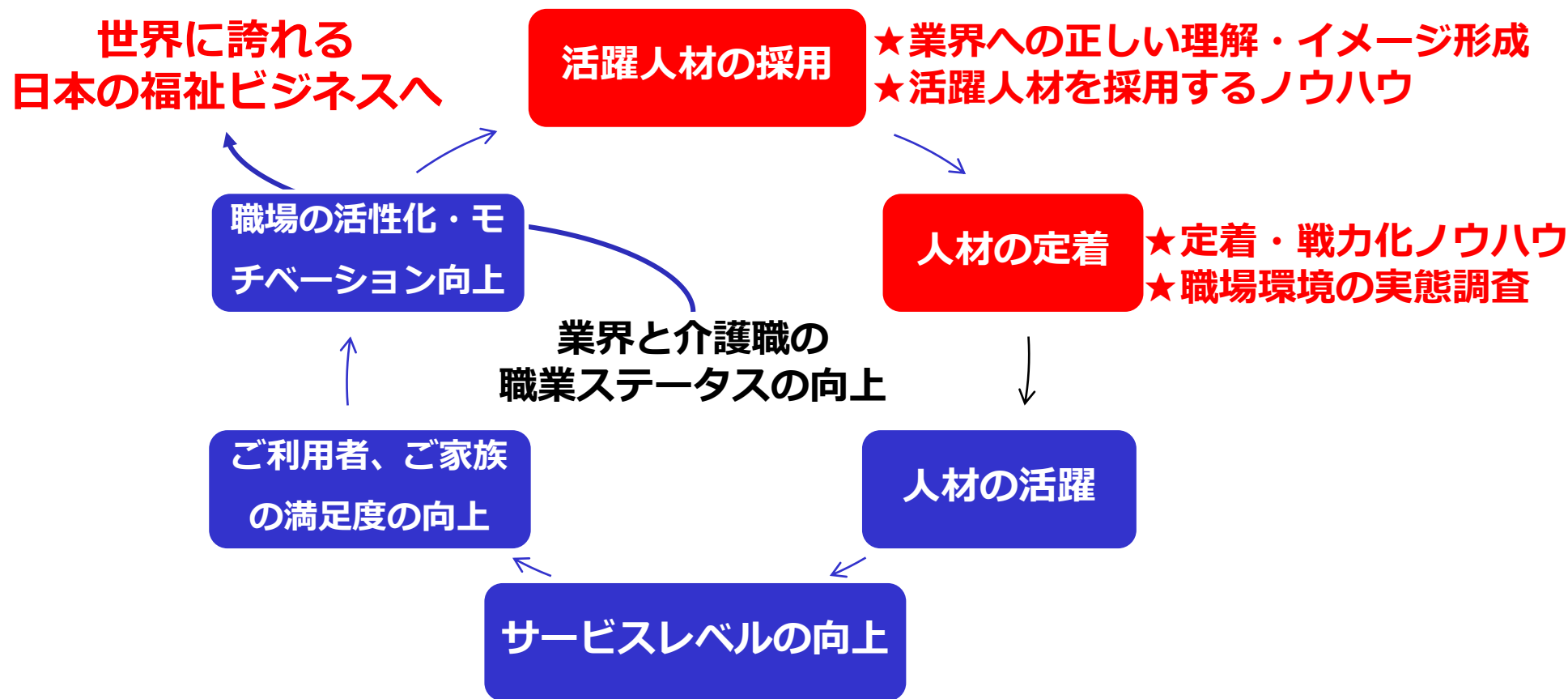


職場環境診断ツール



リクルートキャリア「HELPMAN JAPAN」プロジェクト

福祉業界を今まで以上に**職業選択の1つ**として捉え、
誇りを持って仕事に取り組むことができる社会を創造する。



介護業界の就業人口を増やすこと

HELPMAN JAPANで アンケート調査を実施

「介護サービス業職業イメージ調査」より、
9つのメッセージ

介護サービス業の職業イメージ～ポジティブイメージ（12項目）

介護サービス業のポジティブイメージ

1：社会的に 意義の大きい 仕事だと思う	38.8%
2：今後 成長 していく業界だと思う	30.9%
3： 資格や専門知識 を活かすことができる業界だと思う	29.8%
4： 人との交流 がやりがいにつながる業界だと思う	28.9%
5：仕事に やりがい がある業界だと思う	22.9%
6：専門知識や技術面で スキルアップ していける業界だと思う	15.9%
7： 雇用不安の少ない 業界だと思う	15.4%
8： 様々な働き方 が可能で長く働くことができる業界だと思う	8.5%
9：誰でもできる仕事が多い業界だと思う	8.4%
10： ワークライフバランス を取って働ける業界だと思う	5.2%
11： 社風の良い 会社が多い業界だと思う	4.7%
12： グローバル に活躍できる可能性のある業界だと思う	3.2%

介護サービス業の職業イメージ～ネガティブイメージ（16項目）

介護サービス業のネガティブイメージ

13：体力的にきつい仕事の多い業界だと思う	61.0%
14：精神的にきつい仕事の多い業界だと思う	53.8%
15：給与水準が低めの業界だと思う	48.0%
16：他人の人生に関わるのが大変そう	46.1%
17：離職率が高い業界だと思う	44.6%
18：個人の向き・不向きのはっきりする業界だと思う	43.4%
19：補助金頼みの会社や施設等が多い業界だと思う	37.4%
20：知名度や規模の小さい会社が多い業界だと思う	29.8%
21：社会的地位・評判があまり高くない業界だと思う	29.6%
22：福利厚生があまり充実していない業界だと思う	27.0%
23：評価基準が明確でない会社や施設が多い業界だと思う	26.5%
24：給与体系が明確でない会社や施設が多い業界だと思う	25.9%
25：働く人が特定の層に偏っている業界だと思う	18.9%
26：経営者の個性が強すぎる会社や施設が多い業界だと思う	15.6%
27：尊敬できる上司や仲間が少ない業界だと思う	13.5%
28：他の業界に転職するのが難しい業界だと思う	13.0%

介護サービス業について認知していること（12項目）

介護業界の実態については求職者に伝わっていない観点が多い

介護サービス業について認知していること

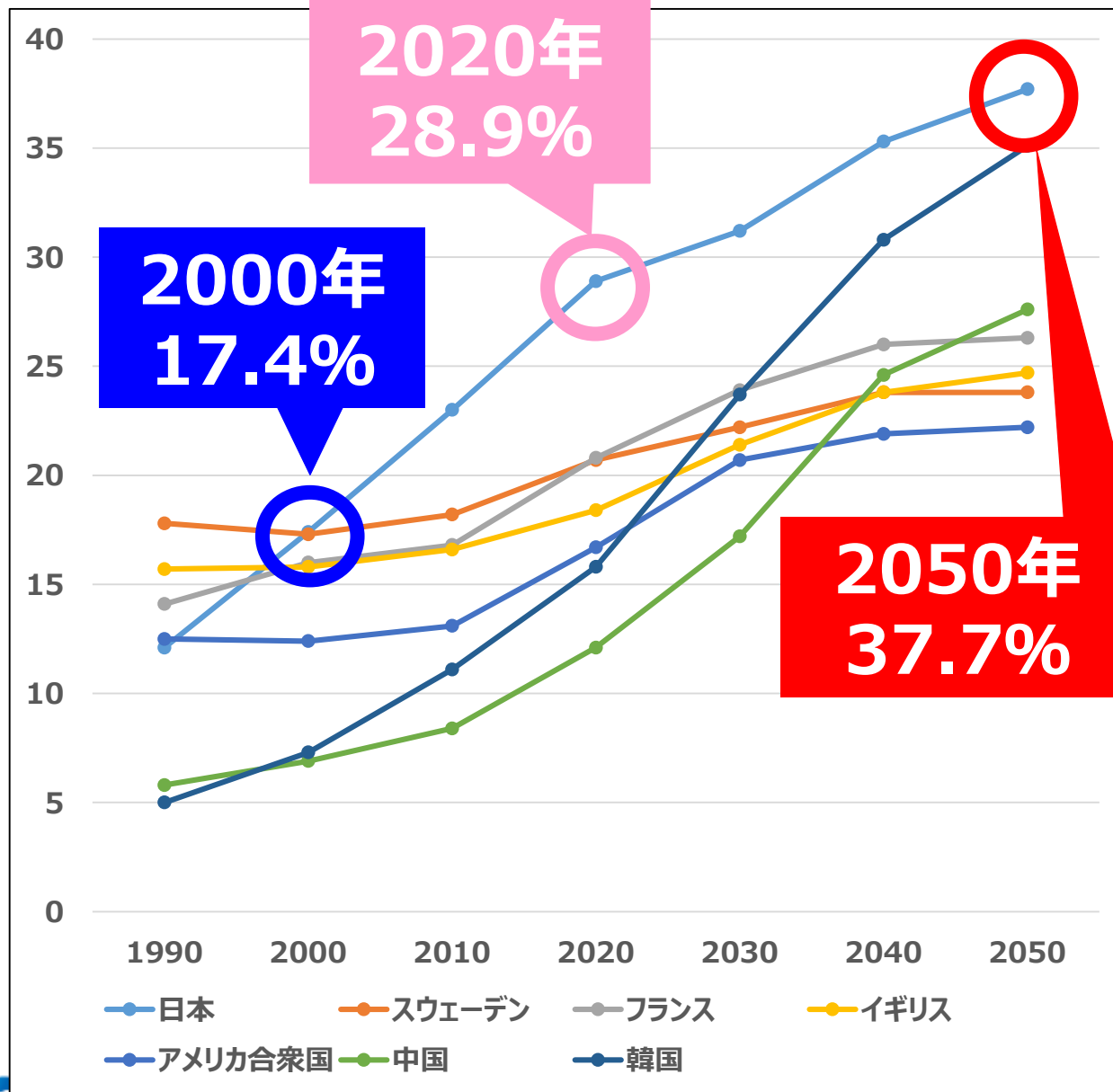
29：資格の有無に関わらず、未経験からでもスタートできる	33.9%
30：介護事業者にも人事総務、営業、企画などの部門がある	32.1%
31：自動車、化粧品、食品、鉄道、運輸、教育等の大手企業が高齢者向けビジネスに参入	29.7%
32：現場職だけでなく、マネジメントや介護に関わる様々なポスト、グローバル展開する等、様々な選択肢がある	17.5%
33：介護業界に新たに転職者のうち約60%の方が介護業界以外の業界からの転職である	16.2%
34：過去3年度、介護業界の有効求人倍率は1.8倍を超え、全体平均の2倍以上である	15.3%
35：介護技術が発達により腰などを痛めずに生涯働ける環境になっていること	15.3%
36：技術さえあれば起業できるため、初期投資が必要なく、マンションの一室からでも起業することが可能な業界である	15.2%
37：1年以内の離職率が10%未満の事業所が約5割を占める	13.5%
38：介護職員の約3割が34歳以下の方々である	13.1%
39：業界全体の離職率は産業全体と大きく変わらない	8.7%
40：介護業界で働く人の5割強は残業がない	7.5%

①

成長産業

**～労働市場の拡大～
(将来性・安定性)**

日本は世界最高速で最高齢国へ

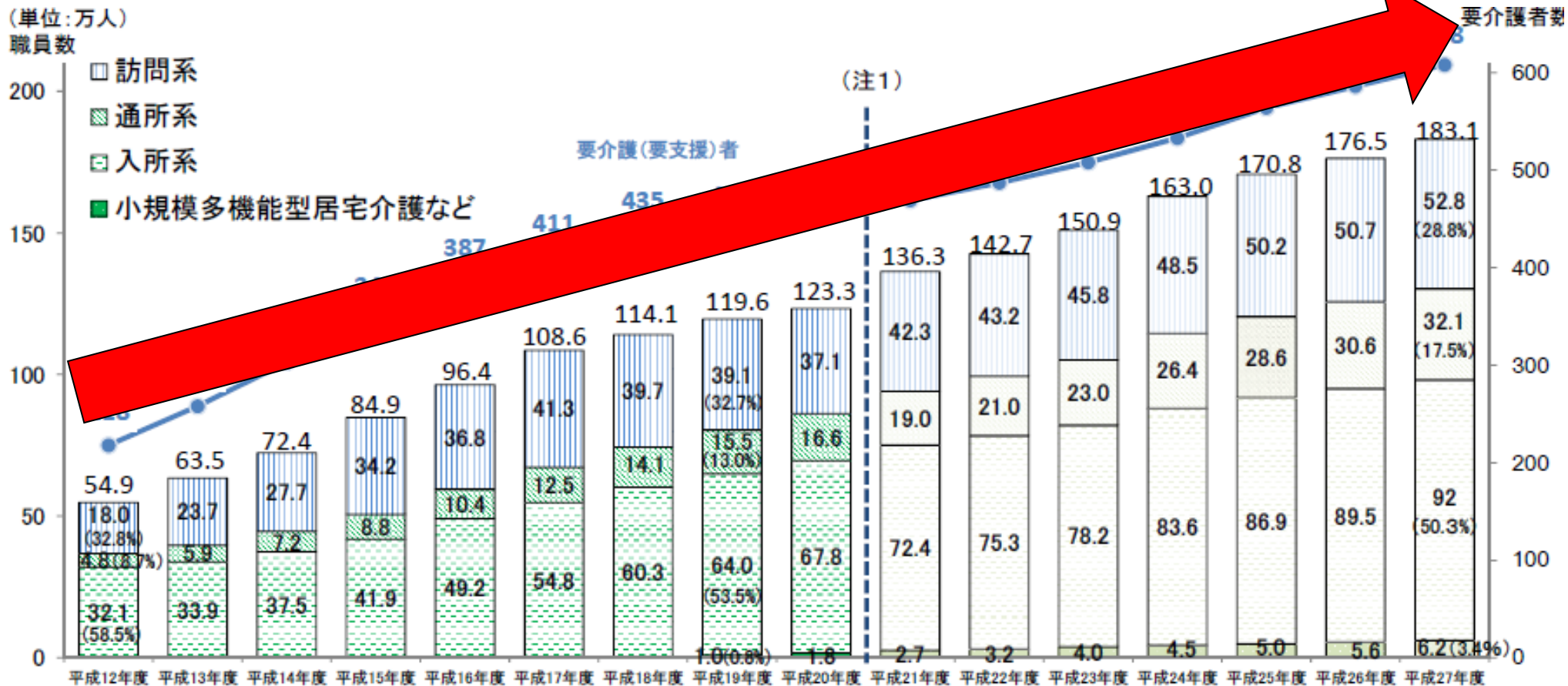


	2000	2020	2050
日本	17.4	28.9	37.7
スウェーデン	17.3	20.7	23.8
フランス	16	20.8	26.3
イギリス	15.8	18.4	24.7
アメリカ	12.4	16.7	22.2
中国	6.9	12.1	27.6
韓国	7.3	15.8	35.1

【資料】資料：UN, World Population Prospects : The 2015 Revision
 ただし日本は、2015年までは総務省「国勢調査」
 2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果による。
 【出典】世界の高齢化率の推移（内閣府）を加工して作成

介護職員数の推移

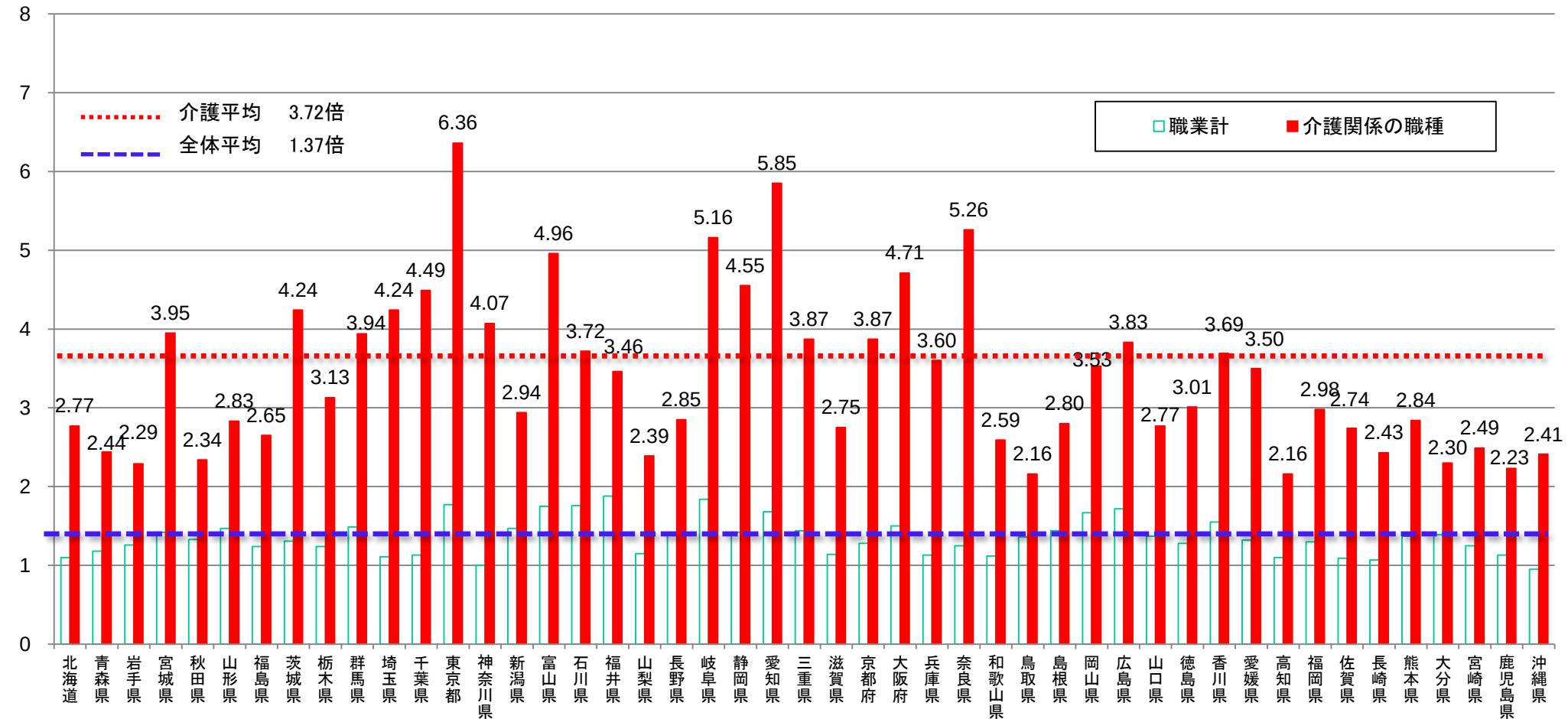
介護業界で働く職員数は毎年増加している



【出典】厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」（介護職員数）、「介護保険事業状況報告」（要介護（要支援）認定者数）

都道府県別有効求人倍率（平成30年6月）

全国どこでも介護関係職種で働いてほしいという会社は多い



(資料出所) 厚生労働省「職業安定業務統計」(注) 介護関連職種は、ホームヘルパー、介護支援専門員、介護福祉士等のこと。

②

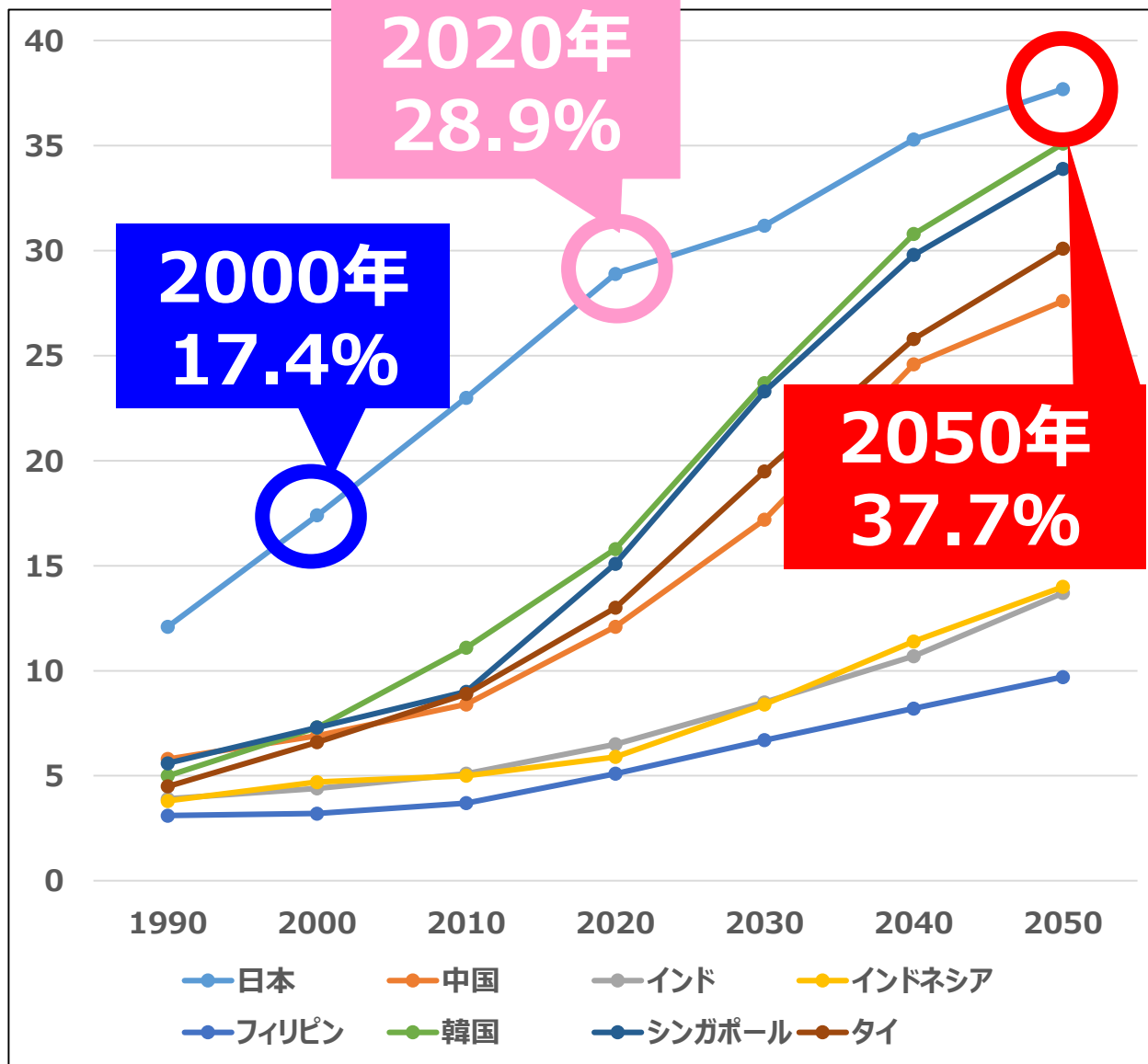
成長産業

～他産業からの進出～

③

成長産業 ～グローバル～

アジア諸国の高齢化率



	2000	2020	2050
日本	17.4	28.9	37.7
中国	6.9	12.1	27.6
インド	4.4	6.5	13.7
インドネシア	4.7	5.9	14
フィリピン	3.2	5.1	9.7
韓国	7.3	15.8	35.1
シンガポール	7.3	15.1	33.9
タイ	6.6	13	30.1

【資料】資料 : UN, World Population Prospects : The 2015 Revision

ただし日本は、2015年までは総務省「国勢調査」
2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果による。

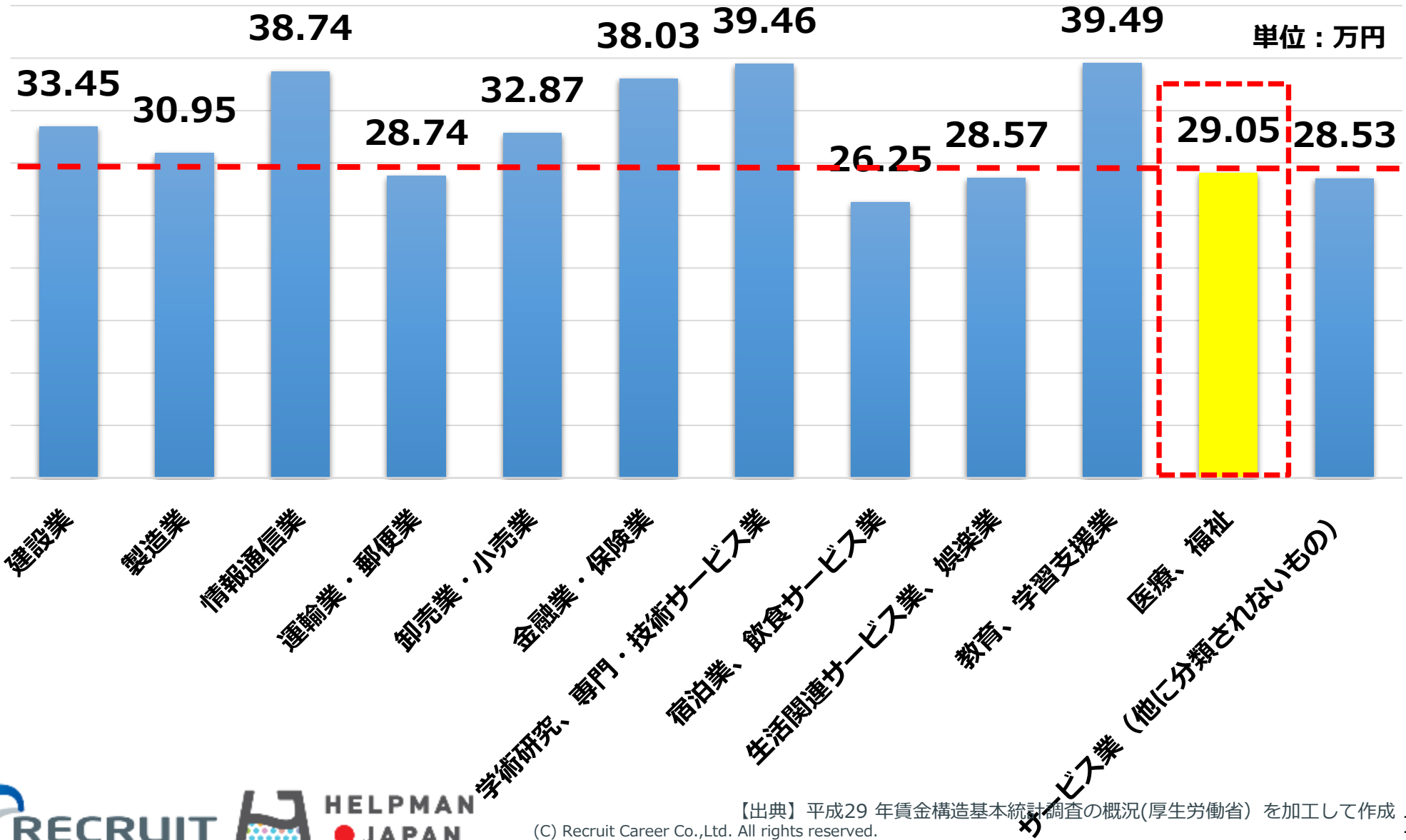
【出典】世界の高齢化率の推移（内閣府）を加工して作成

④

労働条件 ～賃金～

主な産業別賃金

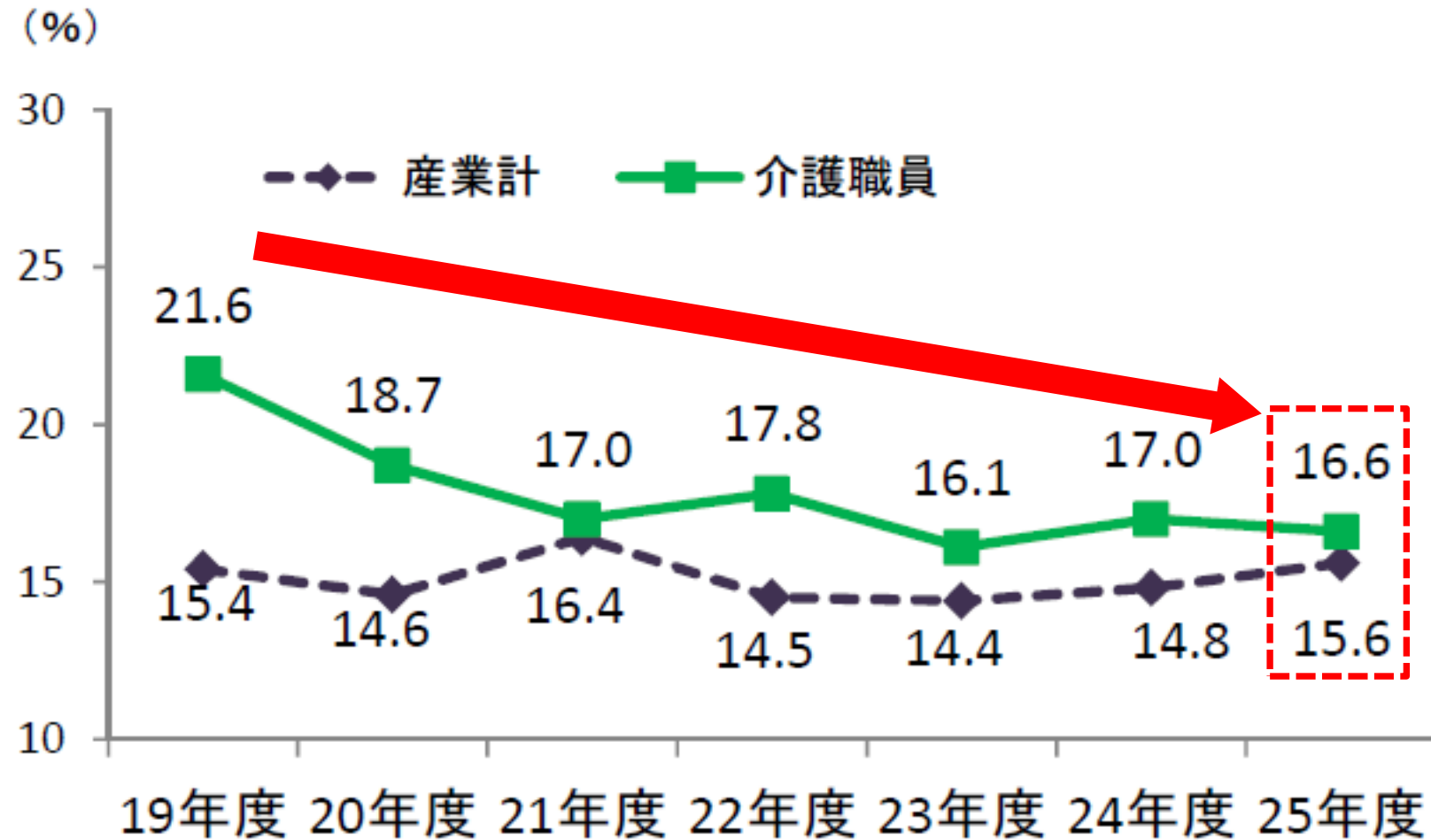
医療・福祉の平均月給29万円以上となり他産業の方が低いケースも



⑤

労働条件 ～離職率～

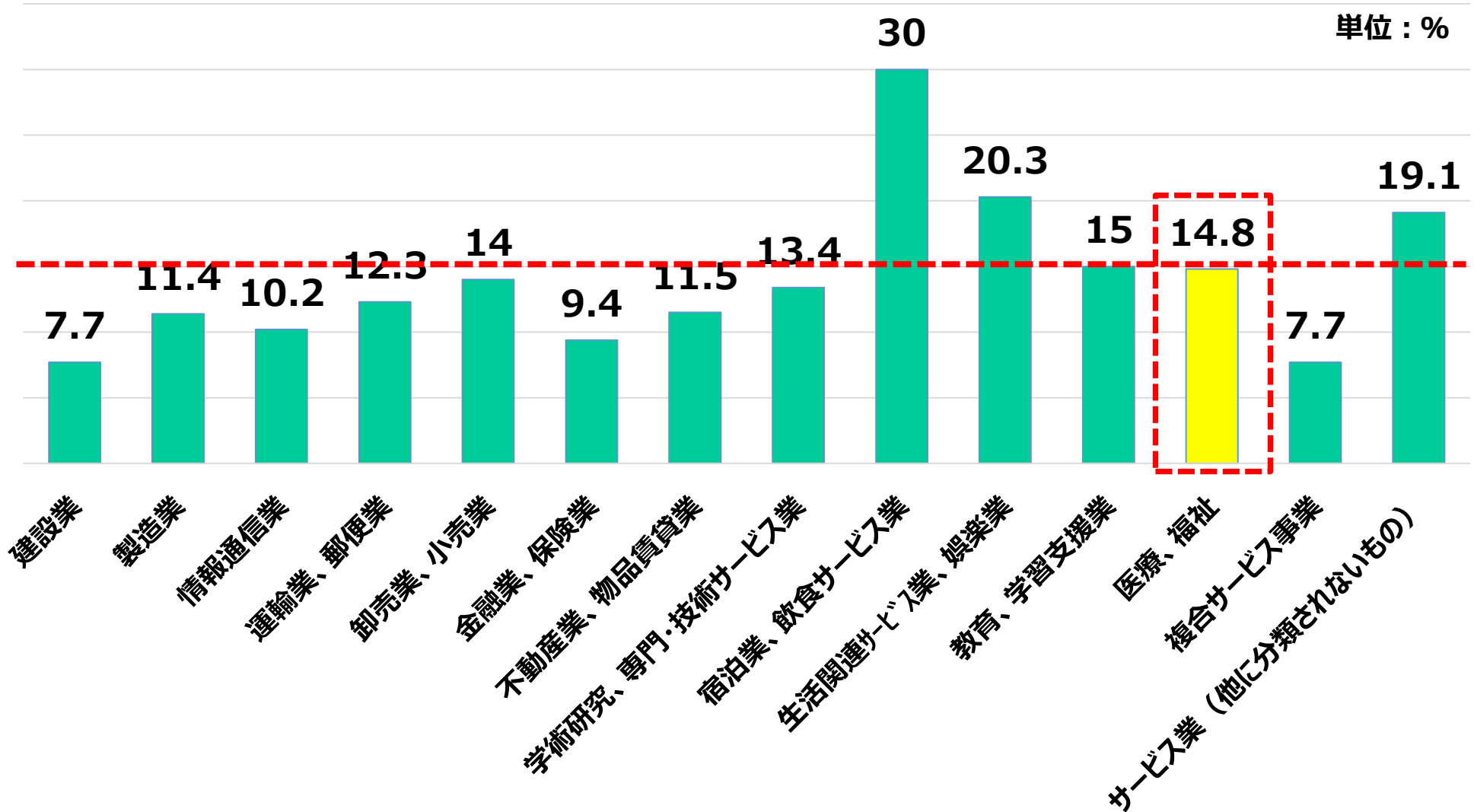
介護職の離職率については改善傾向



【出典】第1回社会保障審議会福祉部会 福祉人材確保専門委員会 平成26年10月27日 (厚生労働省)

産業別離職率の状況

医療・介護の離職率は、14.8%

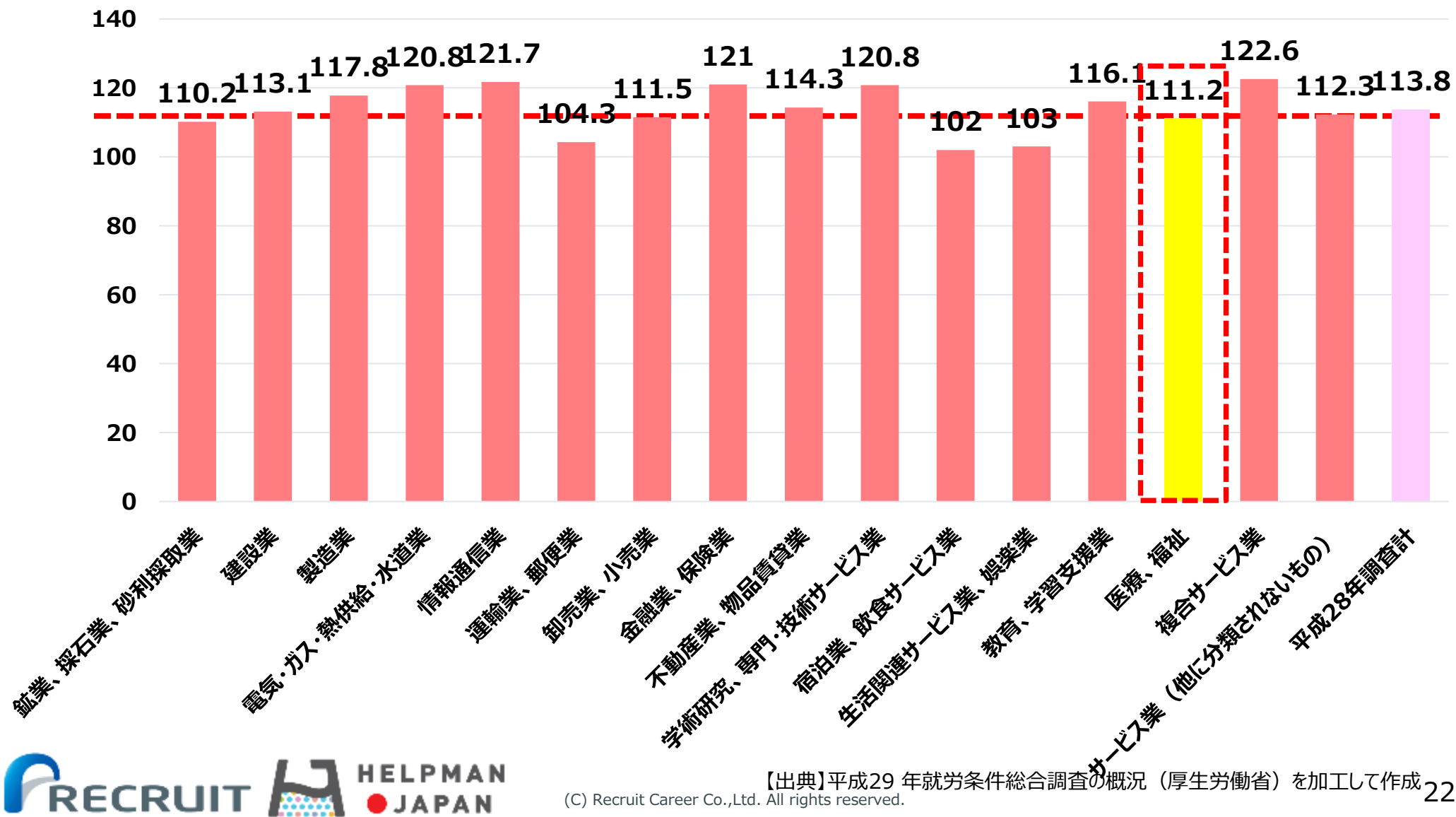


⑥

労働条件 ～時間～

労働者 1 人あたりの平均年間休日総数（産業別）

産業と比較しても少ないわけではなく、ほぼ全業界平均と同等



⑦

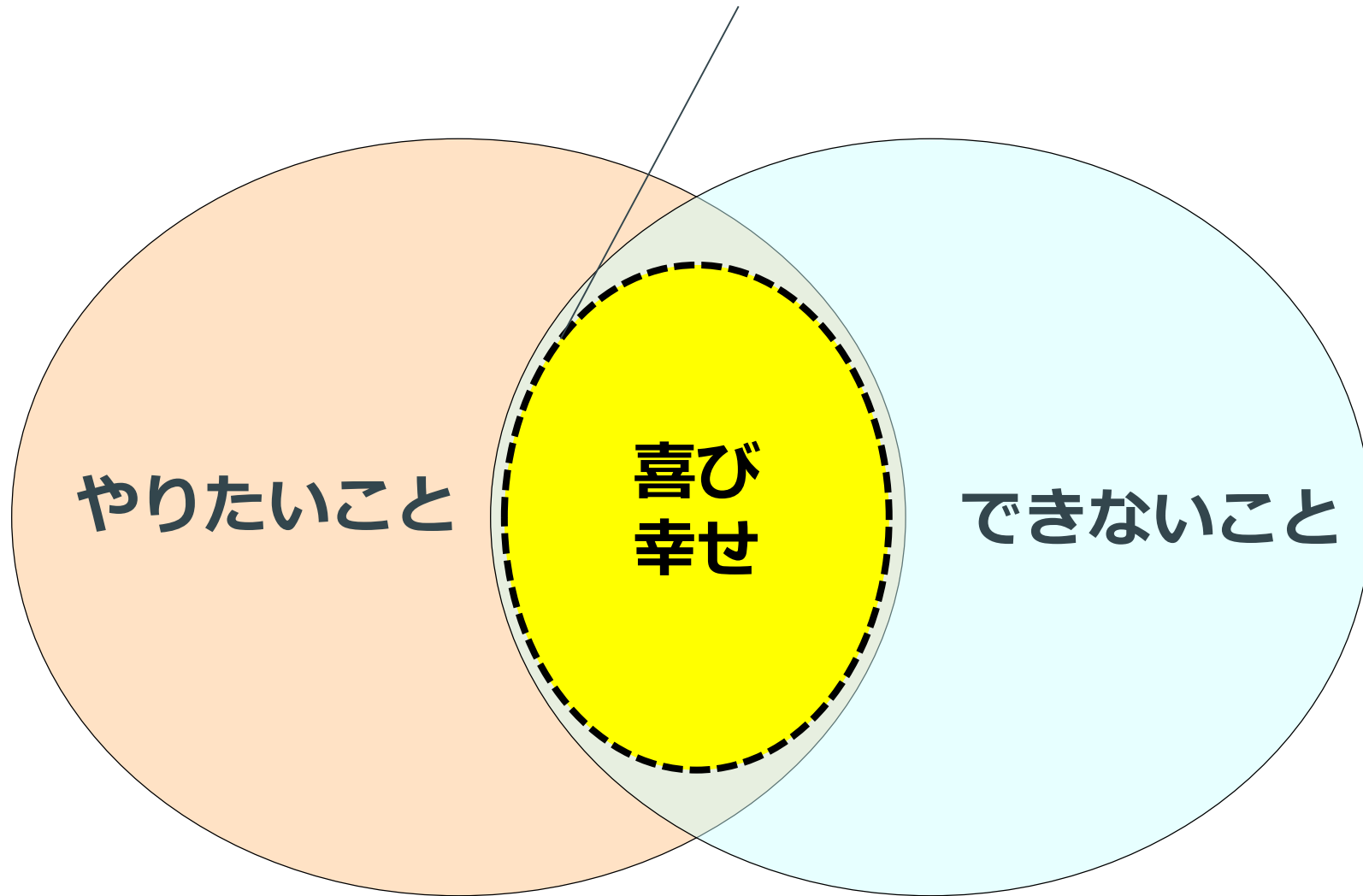
労働条件 ～体力面～

⑧

やりがい ～仕事の奥深さ～

介護の仕事とは？

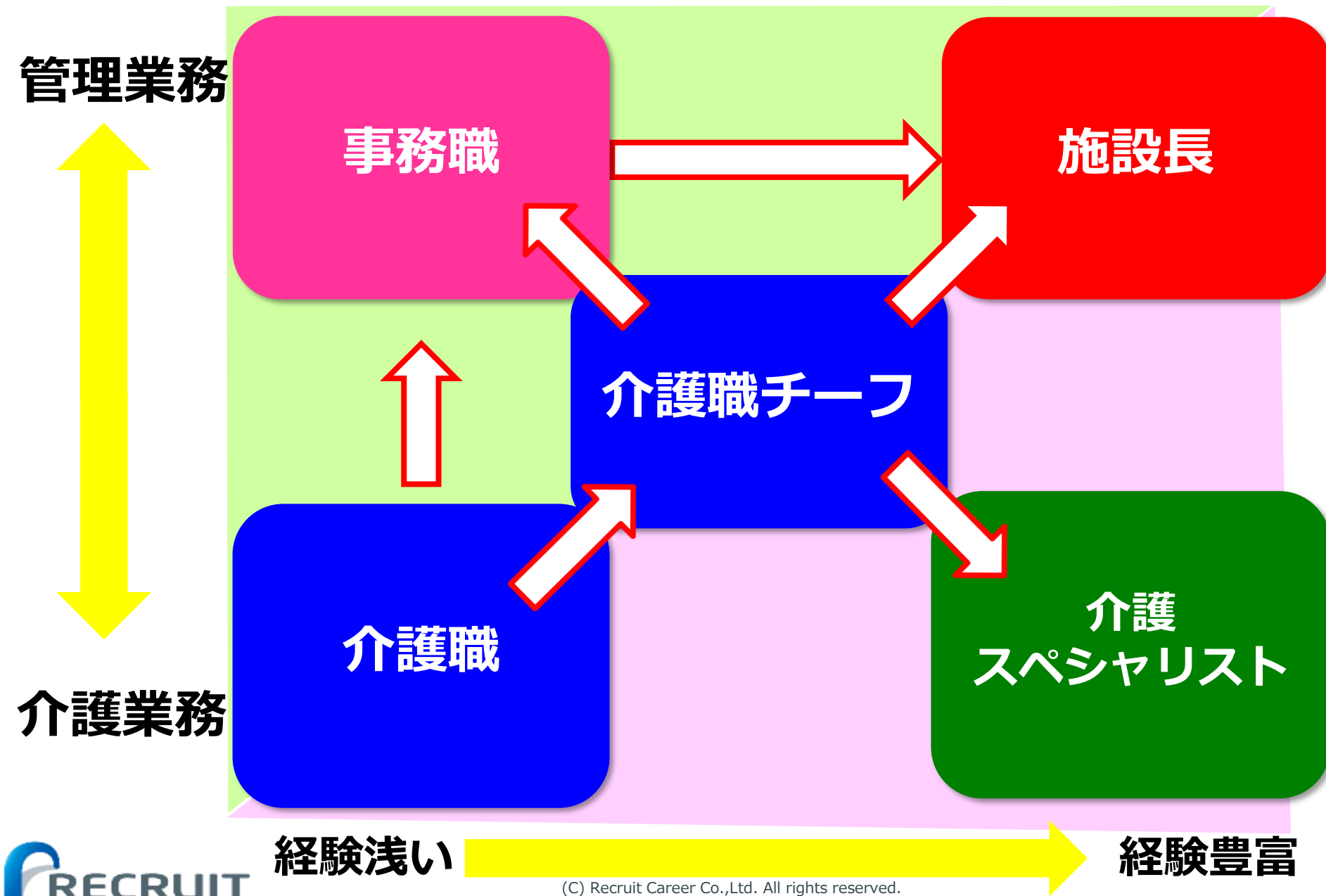
高齢者の日々の生活を演出するプロデューサー



⑨

やりがい
～仕事の幅広さ～

介護の仕事のキャリア選択肢は幅広い



代表的な介護の資格

仕事に従事しながら、新たな資格を取得する方も多い

① 民間基礎資格

介護職員初任者研修

ガイドヘルパー

ケアマネージャー

介護事務

② 国家資格

介護福祉士

社会福祉士

作業療法士

理学療法士

9つのテーマキーワードも踏まえた、伝えるポイント

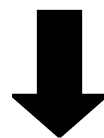
- 「成長産業」
- 「将来性・安定性について」
- 「賃金等の条件について」
- 「やりがいについて」
- 「性格との相性について」
- 「職場の雰囲気について」

具体的に、『どのような人が働いているか？』を紹介することが非常に重要！

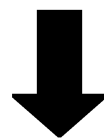
働く「人」を紹介することで

- ⇒ **仲間（性格）、職場の雰囲気**が伝わる
- ⇒ 仕事の**やりがい【面白さ、幅広さ、深さ、可能性】**が伝わる
- ⇒ どれくらいの**所得**を得て、どういった**生活が実現**できているか？（≡**安定性**）が伝わる

介護の仕事で働く**魅力**



活躍 **「人」** にフォーカス



「ON」 と **「OFF」** を
事例とセットでPR